

京水労ニュース



No.12

部内資料

2026年1月27日

教宣部長 稲田 智己

水循環命と水がめぐる道

2月8日投開票の衆院選では必ず投票を！
～京水労は4名の候補者を推薦決定～

京水労は、2月8日投開票の衆議院議員選挙において、京都府内の6選挙区中4選挙区で候補者の推薦を決定しました（下表参照）。前回の衆院選では推薦候補者が不在であった京都府第2区で候補者の推薦が決定した一方で、これまで第4区で推薦してきた候補者が自民党から立候補したことに伴い、今回の衆院選では第4区においては候補者の推薦をしないことも決定しました。

京水労としては、これまで応援してきた立憲民主党が、今回の衆院選では公明党との新政党「中道改革連合」を立ち上げて選挙戦に挑むこととなり、1月19日の新党立ち上げの発表以降、時間がない中ではありましたが、対応を熟考してきました。上部団体である全水道、連合京都にも経過や動向を確認しつつ、並行して執行委員会内でもさまざまな角度から議論がなされた上で、今回の推薦決定に至りました。今回は短期間での選挙戦となりますが、棄権することなく投票をお願いします。

京水労が推薦決定した候補者

京都府第1区	京都市北区、上京区、中京区、下京区、南区	
ひらたけ 耕三	ひらたけ こうぞう	中道改革連合
京都府第2区	京都市左京区、東山区、山科区	
河野 ゆりこ	こうの ゆりこ	中道改革連合
京都府第3区	京都市伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町	
泉 ケンタ	いずみ けんた	中道改革連合
京都府第4区	京都市右京区、西京区、亀岡市、南丹市、京丹波町	
推薦候補者なし		
京都府第5区	福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町	
推薦候補者なし		
京都府第6区	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村	
やまのい 和則	やまのい かずのり	中道改革連合

隼木執行委員長声明

今回の衆議院解散が報道から明らかになり、その後、誕生した新政党への対応について、京水労として熟考を重ねてまいりました。これまでの繋がりや関係性から現職議員や立候補予定者、さらには全水道本部、連合京都、その他関係団体とも協議を重ねてきました。

我々の上部団体である全水道は、これまで立憲民主党に対して政策提言や要請活動を行い、水道・下水道事業を持続的に運営していくため、組合員の生活を守るために連携を深めてきました。また、全水道の組織内議員である森山浩行衆議院議員(前職・中道改革連合から大阪16区に立候補)は、水政策をライフワークとして活動し、水政策の推進に寄与するとともに、全水道の組織目標の達成を後押ししています。

今回の衆院選に京都選挙区から立候補される中道改革連合の候補者の皆さんとも、我々京水労の代弁者としてさまざまな場面で水道・下水道事業に携わる労働者、さらには弱者の目線で我々の声を国に届け、共に支え合うことを約束しました。

現職議員からは、水道・下水道事業をスムーズに進めるため、所管である国土交通省に働き掛けを行い、与党として政権に携わった経験がある両党(立憲民主党(旧民主党時代)・公明党)の経験を活かして活動していくことを約束いただきました。新たに立候補される候補者には、これまでの経験や得意分野を活かし、水道・下水道事業の大切さをこれからしっかりと勉強し、我々の力になってもらえるよう要請し、こちらもお互いに支え合うことを確認しました。

京水労は、これまでから人と人との繋がりを大切にし、組織強化を進める中で、政治との繋がりの大切さを組合員の皆さんに伝えてきました。政治活動に取り組むことも、京水労の方針として確立しています。今回推薦決定した4候補者は、当選後には労働者の目線を持ち、国会の場で活動していく姿勢を確認できました。新政党についても、元々は労働者目線を持ち、我々が方針に掲げ取り組んでいる人権・平和運動に取り組んできた両党であることから応援していきます。

新党立ち上げに対しネガティブな報道もあり、それぞれ個人の思いは勿論あると思います。しかし、まずは貴重な一票を投じることが大切です。棄権することなく、必ず投票をお願いします。

京都市水道労働組合 執行委員長 隼木 至